

朝日町立あさひ未来学園

開校準備通信

9年間の義務教育課程を一つにした新しい学校をつくれます

第11号

2026.4

編集・発行
朝日町教育委員会
義務教育学校創設準備室

基本設計がまとまりました

～学校づくりが次の段階へ進みます～

新しい学校づくりに向けて進めてきた基本設計が、このたびまとまりました。あわせて、建設予定地では造成工事も始まり、事業は次の段階へ進んでいます。

【学校基本コンセプト】朝日ではじまる「きょういく」と未来へつながる「また明日」を実現するため、基本設計では建物の配置や各施設の大きさ、主な機能など、学校全体の大枠となる内容を整理しました。校内配置の検討にあたっては、準備委員会での協議をはじめ、ワークショップや意見箱、学校関係者の皆様からヒアリングでいただいた多くのご意見を反映させていただきました。今後は、この基本設計をもとに、建物の詳細な内容や設備などを具体的に決めていく「実施設計」の段階へと進んでいきます。

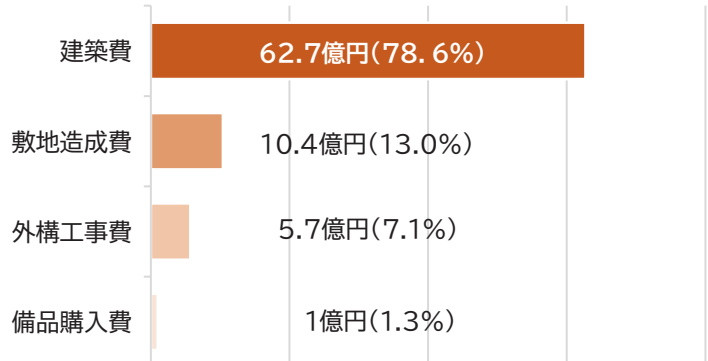
3月28日には校内配置計画の町民向けの説明会を実施しました。今回は、配置の考え方やその理由、これまでいただいたご意見への対応などについて、設計者と町の担当者からご説明いたしました。今後は、学校運営などのソフト面についても、引き続き広くご意見を伺い、実施設計を進めていきます。



佐藤総合計画の設計者より設計内容についての説明

学校づくりにかかる費用（事業費）

建設にかかる概算費用は、令和7年12月時点では79億8000万円を見込んでいます。今後、実施設計を進める中で費用が変動する可能性もありますが、内容を確認しながら、計画的に進めていきます。事業費の大きな内訳は右のグラフをご覧ください。



造成工事の進捗状況について

新校舎の建設に向けて、土台となる造成工事が始まります。着工に先立ち、3月24日に安全祈願祭を執り行いました。施工業者である大東建設（株）の主催により、工事に事故や災害がないことを祈願しました。期間中は工事車両の出入りなどにより、付近の皆様にはご迷惑をお掛けするかと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。



準備委員会委員長 長岡宏明氏

造成工事について Q&A

大雨に対する安全対策は？

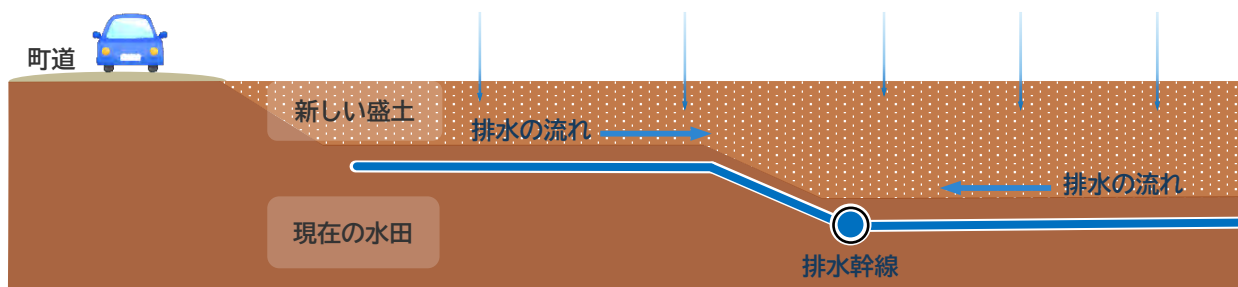
敷地の下には、^{あんきよ}暗渠管（排水パイプ）を張り巡らせ、雨水をスムーズに排水する仕組みを整えます。

さらに、敷地のまわりに水路を設け、排水のはたらきを高めて大雨に備えます。

排水イメージ図



降った雨水は、地面にしみ込み、地下の暗渠管へ流れていきます。



学校の工事も盛土規制法の対象になるのですか？


盛土規制法は、盛土などによる災害を防ぐために、令和5年5月に施行された法律です。あさひ未来学園の用地は、この法律に基づく「宅地造成等工事規制区域（通称：宅造区域）」に指定されています。

しかしながら、公共施設（学校や道路、公園等）のための造成工事による盛土等^{*}については、規制の対象になりません。

^{*}盛土等とは、一定規模以上の盛土や切土、土砂の仮置きをいいます。



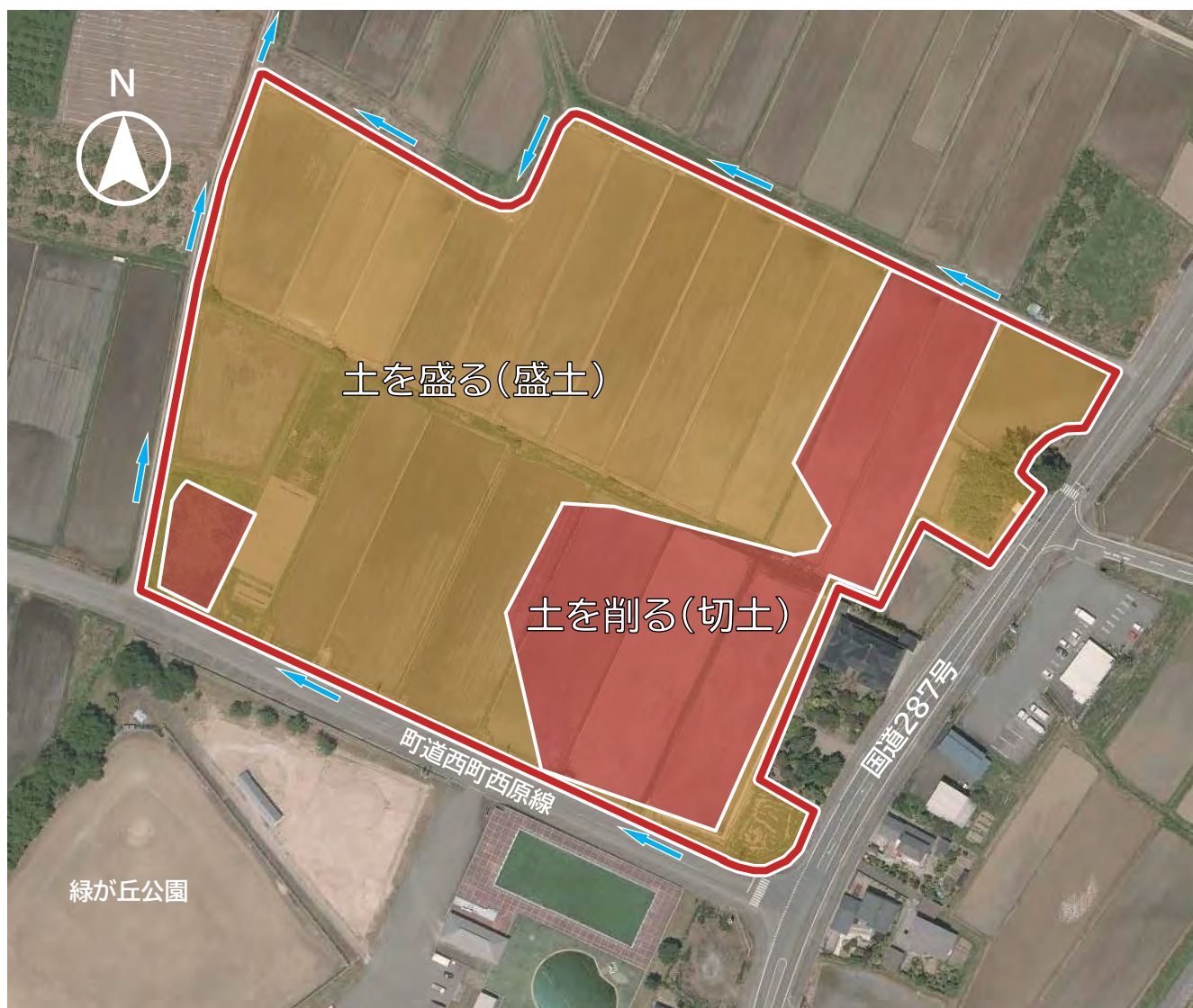
◆造成工事の概要

・・・事業対象範囲

・・・水路

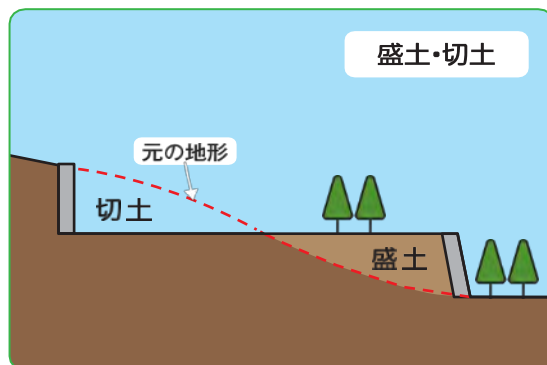
 盛土・・・土を盛る

 切土・・・土を削る



工事の内容

土を盛ったり削ったりして地面の高さや形を整え、建物を建てられる平らな状態にしていきます。高いところは削り(切土)、低いところは盛る(盛土)ことで地盤を整え、足りない土は購入して補います。安心して利用できるよう、しっかりとした地盤を整えていきます。



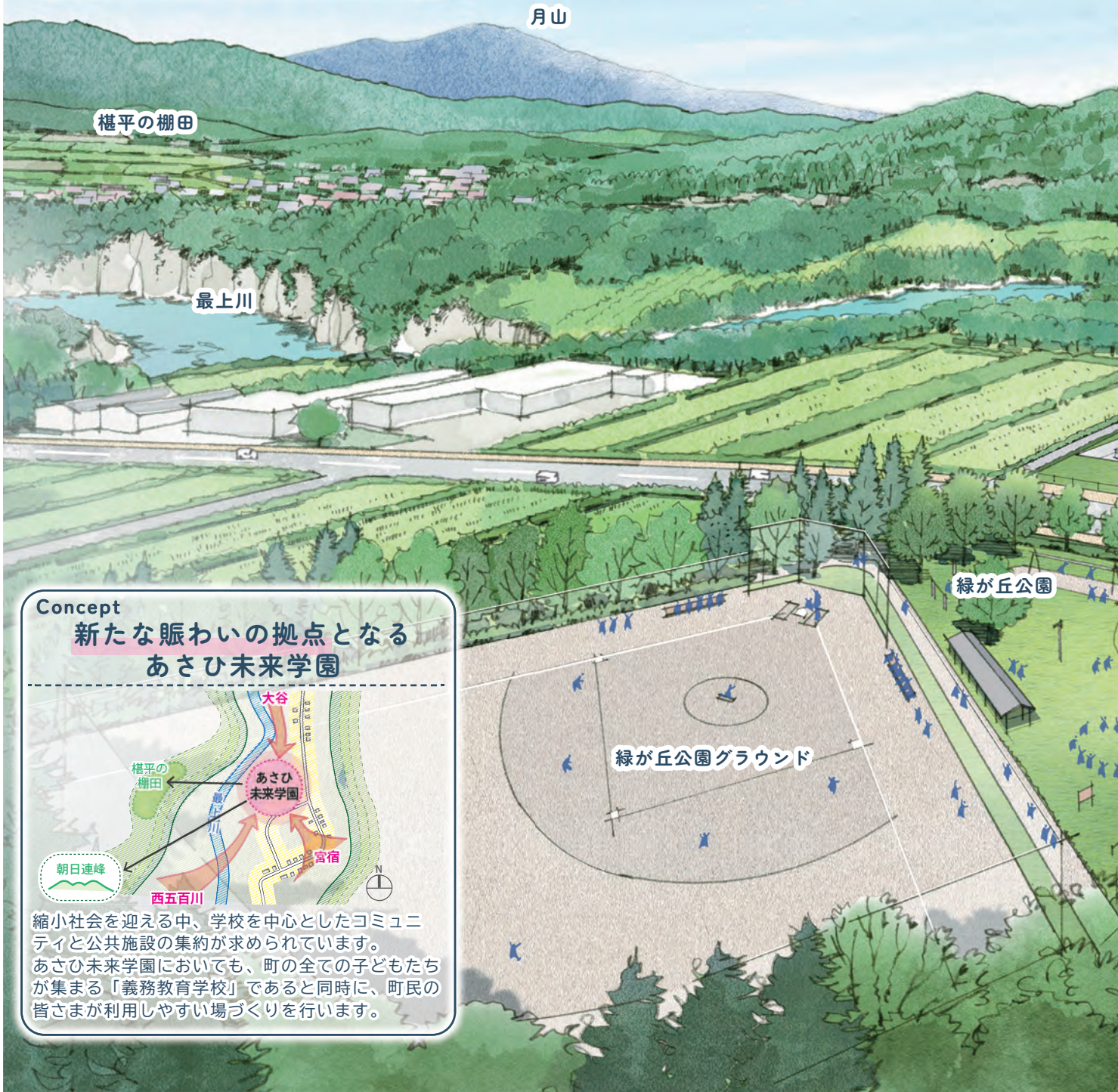
出典:国土交通省「盛土規制法パンフレット」

基本設計（上空からのイメージ）

子どもたちと町民がひとつ屋根の下で学び・

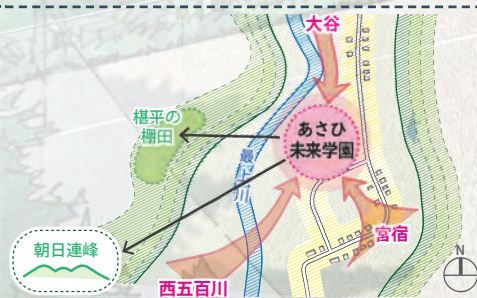
「あさひ未来学園」の 基本設計がまとまりました！

町民ワークショップや意見箱を通じ、たくさんのご意見をお寄せいただきありがとうございました。みなさまからいただいた貴重な声をもとに、このたび「基本設計」がまとまりました。今後はこのプランをもとに、より詳細な設計へと進めてまいります。



Concept

新たな賑わいの拠点となる あさひ未来学園



縮小社会を迎える中、学校を中心としたコミュニティと公共施設の集約が求められています。あさひ未来学園においても、町の全ての子どもたちが集まる「義務教育学校」であると同時に、町民の皆さまが利用しやすい場づくりを行います。

※基本設計段階における完成イメージであり、今後の検討により変更になる場合があります。

交流する「-集いの学び舎- あさひ未来学園」



あそび場×校舎×グラウンドで、互いの活動が重なる学び舎

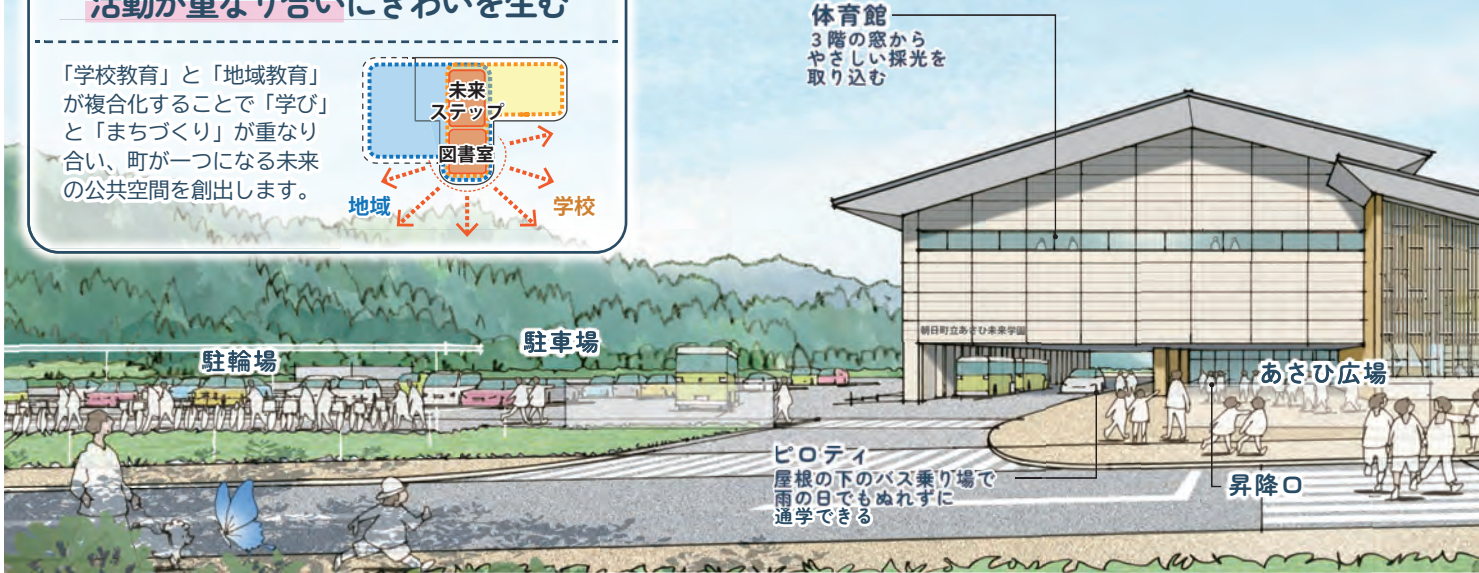
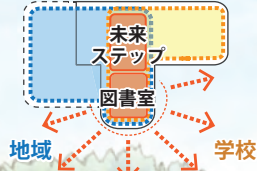
校舎とつながる2つの広場で、互いの活動が見える構成とすることで、下級生への思いやりと上級生へのあこがれの気持ちを醸成し、9年間の成長が実感できる学校づくりを行います。



基本設計（正面イメージ・配置図）

図書室を中心に「学校」と「地域」の活動が重なり合いにぎわいを生む

「学校教育」と「地域教育」が複合化することで「学び」と「まちづくり」が重なり合い、町が一つになる未来の公共空間を創出します。

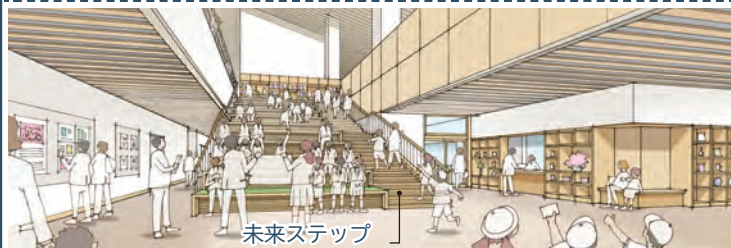


先生の働きやすさと子どもたちとの交流を生む校務センター



- 校務センターの扉を開放すると、低学年の子どもたちは昇降口から校務センターを通して、まっすぐ教室へ行ける。
- カウンター越しに先生の姿を視認できるため子どもと先生が気軽にコミュニケーションを取りやすい。

発表や演奏の場となる「未来ステップ」

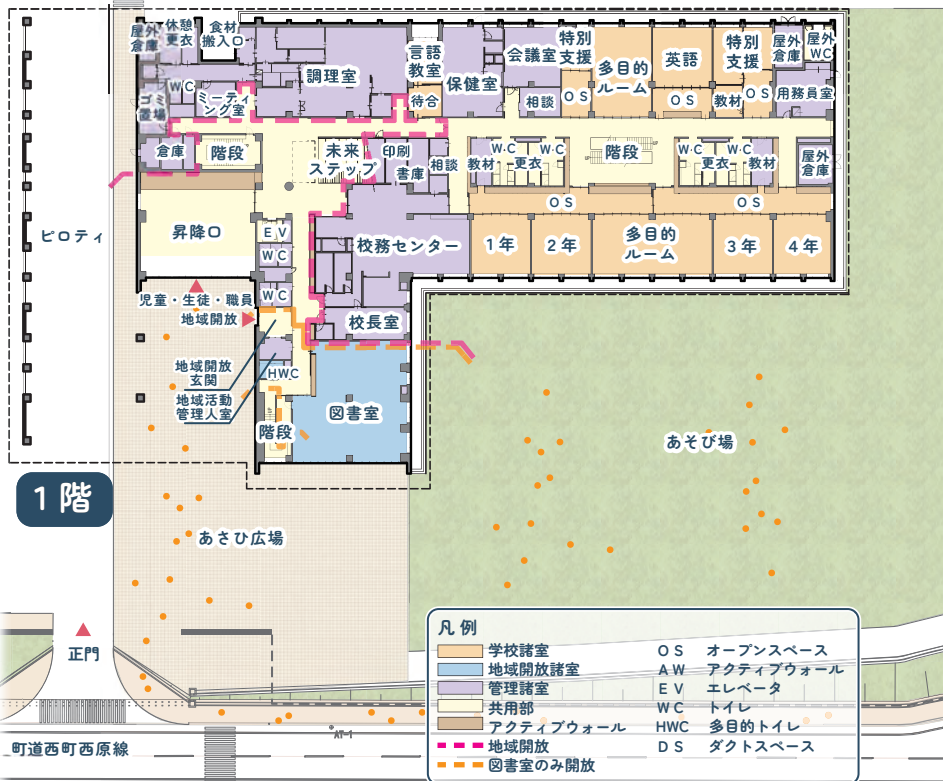


イベント時には観客席にもなり、発表や演奏、作品展示など地域との協働活動に利用可能。

図書室を地域に開く



地域のリビングのように内部の様子が感じられ、町道から見える位置に配置。



凡例	
学校諸室	OS オープンスペース
地域開放諸室	AW アクティブウォール
管理諸室	EV エレベータ
共用部	WC トイレ
アクティブウォール	HWC 多目的トイレ
地域開放	DS ダクトスペース
図書室のみ開放	

事業の進捗状況

工種		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
1	用地の取得	■	■	■			
2	造成設計・許認可申請	■	■	■			
3	造成工事			■	■		
4	建築・外構設計		■	■			
5	建築工事			■	■	■	
6	外構工事					■	■
7	引っ越し・開校準備						★開校

※設計・工事ともに、業者選定期間（プロポーザル、入札等）を含む

現在は令和8年度の第1四半期にあたり、進捗状況は赤の点線で囲んだ部分です。開校準備通信第7号(令和7年8月発行)でお知らせしました土地について、農振除外・農地転用・開発許可の手続きが完了し、その後、用地の取得を終えました。これまでご協力いただいた地権者・耕作者の皆様へ、心より感謝申し上げます。現在進めている造成工事は、令和9年3月下旬の完成を予定しています。

令和7年度 準備委員会の開催状況

令和7年度は、5月から2月までの間に準備委員会を5回、各専門部会を4回開催しました。今年度は特に、基本設計の校内配置計画について、時間をかけて話し合いを重ねてきました。



基本設計についてのグループ協議

ご意見の反映について

これまでいただいたご意見を大切に、検討を進めています。校内配置などについて、ワークショップや意見箱でいただいたご意見とその回答は、ホームページでご覧いただけます。

今後も、皆様の声をもとに、よりよい学校づくりを進めていきます。



問合せ先

朝日町教育委員会 義務教育学校創設準備室
☎67-3302 / junbi@town.asahi.yamagata.jp

あさひ未来学園

検索